



地域貢献



SDGs・郷育



GIGA スクール



学校教育目標

生き生き かがやく 河内の子

目指す学校像	目指す児童像	目指す教職員像
●楽しい学校	●自ら学び考える子	●学び続ける教職員
●がんばる学校	●思いやりのある子	●子どもの気持ちによりそう教職員
●地域とともにある学校	●たくましい子	●協働する教職員

学校経営目標

<p><b>1 自ら学び考える児童の育成（教務部）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力調査等の客観的データを生かして指導改善し、学力の定着を図る。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」による授業の工夫を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。</li> <li>家庭学習を工夫し、自主学習を奨励する。</li> <li>落合中学校校区の研究を推進する。</li> </ul>	<p><b>2 思いやりのある児童の育成（生徒指導部）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳を要に、全教育活動を通して心の教育の充実を図り、いじめを許さず、仲間を大切にする気持ちを育てる。</li> <li>心理検査（Q-U）等の客観的なデータを生かし、改善プログラムを実施する。</li> <li>縦割り班活動、異年齢交流を活用して集団の力を高める取組を推進する。</li> <li>地域貢献により自己有用感を高める。</li> </ul>	<p><b>3 たくましい児童の育成（保健体育部）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動好きの児童を育成するために、体育の授業の工夫と改善を図る。</li> <li>家庭・地域との連携により、児童の生活習慣の改善、睡眠時間の確保、体力向上等、保健安全指導を推進する。</li> <li>体験活動を充実させることで、挑戦する気持ちや共感する気持ちを育む。</li> </ul>
--	--	--

- **開かれた学校の推進**
  - コミュニティ・スクールとして、学校課題の改善にあたりとともに、情報発信に努める。
  - 生活・総合的な学習の時間では探究的な活動を進めることで、地域学校協働活動を効果的に活用して「SDGs」や「郷育」「キャリア教育」の充実を図る。 《社会に開かれた教育課程の研究》
- **組織的機能の充実と働き方改革の推進**
  - 児童に向き合う時間（授業で勝負）を大切にするため、組織の改善と改革を図り、チーム力の向上を目指す。
  - 人材活用と育成（専科と兼務教員の活用により、ミドルアップダウンの組織体制を構築する。地域連携を推進する。）
  - R-PDCA サイクルを意識し、現状を見直しながら効率的な学校運営を推進する。

研究主題

自ら考えをもち ともに学びあう 子どもの育成



学校運営協議会委員

- 稲岡 康晴（地区評議委員長、上河内）
- 妹尾 久義（学識経験者）
- 片川 照雄（地区評議委員長、中河内）
- 徳若 栄二（地区評議委員長、下河内）
- 妹尾 宗夫（人権教育推進委員会会長）
- 海原 明（青少年育成指導協議会支部長・民生委員）
- 松岡 祥和（人権擁護委員、学識経験者）
- 三村 公一（青少年相談員、学識経験者）
- 三谷 温美（学校支援ボランティア）
- 松尾 奈月（地域学校協働活動推進員）
- 横山 智江（河内こども園園長）
- 橋川 尚（河内小学校PTA会長）
- 山田 史子（河内小学校校長）
- 松浦 浩澄（河内小学校教頭）
- 立石 樹（河内小学校事務主事）



地域ボランティア

学校運営協議会・地域学校協働本部 ～地域とともにある学校・学校を核とした地域づくり～

河内こども園  
 しなやかな心と体で生き生きと生活する子どもの育  
 ～コミュニケーション力と  
 基本的な生活習慣の確立をめざして～

落合中学校校区小・中連携推進協議会  
 「発達段階や教科の特性を生かした主体的・対話的で深い学び」  
 ～学びを深めていくタブレットの効果的な指導法の研究～

